

平成 20 年度ワーキンググループの検討内容とスケジュール（案）

山岳トイレ技術実証事業 3ヶ年計画				
目的	事項	各年事業		
		20年度	21年度	22年度
I 技術面				
1 選定方法の確立	・未実証技術の実証 ・データベースの確立(データの蓄積)	新規1件、継続2件の実証試験 データベース構築方法の検討	試験実施 データベースの構築・試行	試験実施 選定ガイドラインの検討
2 技術の向上	・技術面での評価指標の検討	経年調査指標の検討	アドバイス方法及び体制の検討1	アドバイス方法及び体制の検討2
3 維持管理手法の確立	・メンテナンスマニュアルの整備	メンテナンスマニュアルの内容検討	マニュアル整備に向けた指針	準拠確認の要領化
CO2削減効果の確認方法	・環境保全効果の確認		CO2換算・LCA手法の検討	試行、確認
自然エネルギー技術との連携	・自然エネルギー技術の実証手法確立		実証方法の検討	試行、確認
II 制度面				
6 山岳地以外での展開	・山麓、海岸、離島等での整備ニーズ把握 ・未実証地域での実証(多様な条件下での実証)	ニーズ把握アンケート実施	ETVマークのメリット(活用法)の検討 未実証地域での技術募集・実証実施	未実証地域での技術募集・実証実施
7 事業化方針の作成	・実施体制の効率化 ・試験方法の簡便化	実施体制効率化の検討 試験方法の簡便化の検討	新体制の試行、体制見直し・改善 新試験方法の試行、体制見直し・改善	新体制での試験の実施 新試験方法での試験の実施
8 情報共有システムの確立	・山岳トイレネットワークの確立 ・研修会、シンポジウムの開催	メールマガジンを活用した情報共有	他機関等との連携体制の整備、検討 研修会の実施	情報発信の継続 山岳トイレ技術シンポジウム開催

平成 20 年度の実施計画

課題	目標	スケジュール											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I 技術面													
1 選定方法の確立	・新規1件、継続2件の実証試験			WG1						WG3			WG5
	・データベース構築方法検討							小W2	→				
2 技術の向上	・経年調査手法の検討				小WG1	WG2							
3 維持管理手法の確立	・メンテナンスマニュアル内容の検討									小W3	→	WG4	
II 制度面													
4 山岳地以外での展開	・自然エリアでのニーズ把握												
	・未実証地域の検討												
5 事業化方針の作成	・実施体制効率化、試験方法の簡便化(案)										小WG4	WG4	
6 情報共有システムの確立	・メールマガジンを活用した情報共有												

※ 小WGとは、一部検討員により会の都度構成する、詳細な打合せ会議を指します。(技術面:トイレ技術分野の検討員等 制度面:行政・ユーザー分野の検討員等)

※ また、第2回では結果報告書の確認(秩父市、日本環境衛生センター)、

第5回では20年度の成果確認、試験結果報告書の確認、試験要領第6版についての検討について含む予定です。